

ホットラインの構築（試行案）について

平成29年6月1日
秋田県秋田地域振興局

ホットラインの構築（試行案）

- 洪水予報河川および水位周知河川については、可能な限り平成29年出水期（梅雨期）までを目処にホットライン構築するよう求められている。
- 県においては、本協議会にて、全ての洪水予報河川および水位周知河川を対象として秋田地域振興局と沿川市町村間においてホットラインを構築する。
- 情報伝達は、すでに運用されている土砂災害警戒情報の伝達方法を準用する。

■対象河川（秋田地域）

河川名	観測所名	対象区間	沿川市町村
太平川	牛島	秋田市太平皿見内地主橋～旭川合流点	秋田市
旭川	中島	秋田市添川橋～旧雄物川合流点	秋田市
草生津川	寺内	秋田市外旭川字一本木～旧雄物川合流点	秋田市
新城川	笹岡	秋田市上新城中字堂ノ前～旧雄物川合流点	秋田市
岩見川	坂本	秋田市河辺萱森橋～雄物川合流点	秋田市
猿田川	仁井田	秋田市仁井田福島～太平川合流点	秋田市
馬場目川	久保	五城目町坊井地堤防地点～八郎潟	五城目町、八郎潟町

ホットラインの構築（試行案）

■ 伝達内容およびタイミング

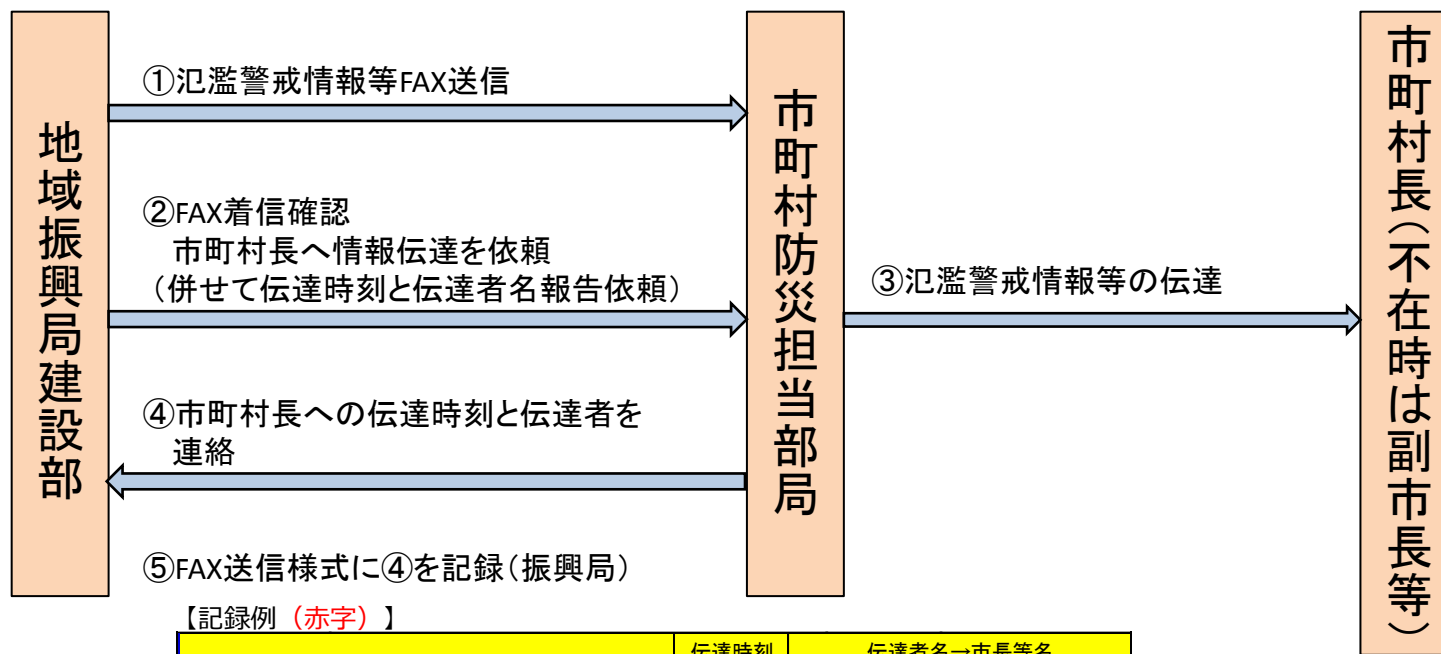
- 伝達内容：現在の水位状況および水位上昇の見込み
- タイミング：氾濫警戒情報（避難判断水位到達）発表時・・・避難準備・高齢者等避難開始の発令判断の目安
氾濫危険情報（氾濫危険水位到達）発表時・・・避難勧告の発令判断の目安

※堤防等の異常に係る情報等については、別途情報提供を行う。

■ 伝達方法

- 土砂災害警戒情報の伝達方法を準用し、地域振興局建設部と市町村防災担当部局間での情報伝達を基本

【伝達の流れ】



【記録例（赤字）】

市長等への伝達	伝達時刻	伝達者名→市長等名
	22:40	嵯峨 → 齋藤市長

ホットラインの構築（試行案）

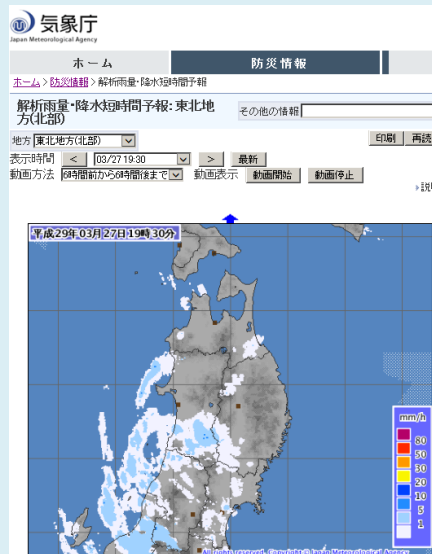
■ 運用開始

○本協議会での了承により試行運用を開始する。

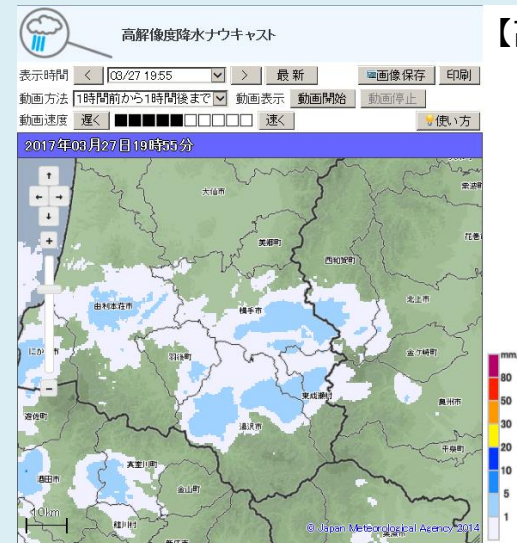
■ その他

- 市町村より県へ今後の水位上昇の見込み等の情報提供依頼があった場合、県は流域の雨量や、気象庁の降雨予想等を参照し、市町村長の避難勧告等の発令判断の支援となる情報提供を行う。
- 平成29年の試行結果を踏まえ、運用の変更が必要と判断された場合、第2回協議会で変更の了承を得る。
- 洪水予報河川や水位周知河川以外については、市町村との協議により必要と判断された河川について平成30年の出水期を目処に構築する。

【降雨予測】 気象庁のホームページより、降水予想情報を確認可能。



【解析雨量・降水短時間予報】
・6時間後までの降水予想



【高解像度降水ナウキャスト】
・画面を拡大可能
・市町村境を表示
・1時間後までの降水予想